

平成30年度「全国学力・学習状況調査」の結果概要について

宇都宮市立上河内東小学校

家庭や地域から「信頼される学校」であるためには、学校の状況や児童の実態を保護者や地域の方々に十分御理解いただく必要があります。その上で、家庭や地域と一体となって児童を育てることが大切であると考えています。

こうした考えから、平成30年度「全国学力・学習状況調査」における本校児童の学力や学習状況の概要について、以下のとおり公表します。

また、調査結果は、学習指導の工夫・改善に役立てることが大切ですので、調査結果の分析、指導の改善策などを併せて掲載します。

【調査の概要】

1 目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況等の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査期日

平成30年4月17日(火)

3 調査対象

小学校 第6学年(国語A・B, 算数A・B, 理科, 児童質問紙)

中学校 第3学年(国語A・B, 数学A・B, 理科, 生徒質問紙)

4 本校の参加状況

① 国語A	28人	国語B	28人
② 算数A	28人	算数B	28人
③ 理科	28人		

5 留意事項

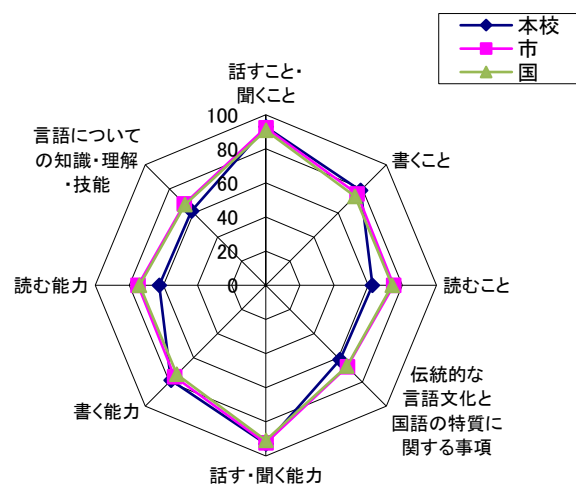
- (1) 本調査は、対象となる学年が限られており、実施教科が国語、算数、理科の3教科のみであることや、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものでないことなどから、本調査の結果については、児童が身に付けるべき学力の特定の一部であることに留意することが必要となる。
- (2) 本校の傾向等を分かりやすく示すために分類・区分別の平均正答率などを公表した。
- (3) 平均正答率の数値は調査結果のすべてを表すものではないため、「本年度の状況」、「今後の指導の重点」などの分析を併せて記載した。

宇都宮市立上河内東小学校第6学年【国語】分類・区別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

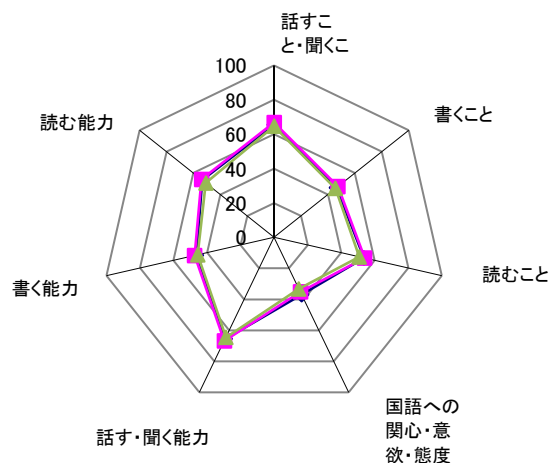
【国語A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	92.9	92.4	90.8
	書くこと	78.6	75.7	73.8
	読むこと	62.5	74.9	74.0
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	61.6	67.5	67.0
観点	国語への関心・意欲・態度			
	話す・聞く能力	92.9	92.4	90.8
	書く能力	78.6	75.7	73.8
	読む能力	62.5	74.9	74.0
	言語についての知識・理解技能	61.6	67.5	67.0



【国語B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	65.5	66.8	64.6
	書くこと	46.4	47.4	45.6
	読むこと	53.6	54.0	50.8
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項			
観点	国語への関心・意欲・態度	36.9	35.2	33.2
	話す・聞く能力	65.5	66.8	64.6
	書く能力	46.4	47.4	45.6
	読む能力	53.6	54.0	50.8
	言語についての知識・理解技能			



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

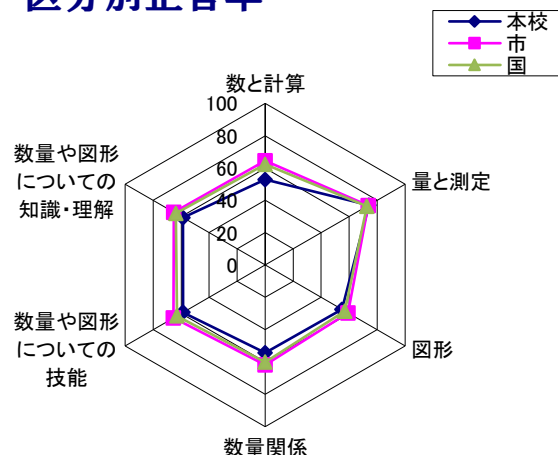
分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○話し合いの様子の一部における司会の発言の役割として、適切なものを選ぶ問題で、正答率が全国平均より高かった。 ●計画的に話し合うために、司会の役割について適切なものを選択する問題で、無解答率が全国平均より高かった。	・選択する問題では、諦めずに答えを導き出そうとする意欲をもつよう指導していきたい。
書くこと	○目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く問題で、正答率が全国平均より高かった。 ●これから言葉をどのように使っていきたいかについて、北川さん、小池さんのいずれかの意見を取り上げ書く問題で、正答率が全国平均より低く、無解答率も、全国平均より高かった。	・話し手の意図を捉えながら、自分の意見と比べるなどして考えをまとめることができるように指導していきたい。
読むこと	○伝記「湯川秀樹」の一部を読んで、最もひかれた一文とその理由を記した文章の空欄に入る内容を書く問題で、正答率が全国平均より高かった。 ●登場人物の心情について、情景描写を基に捉える問題で、正答率が全国平均より低かった。	・叙述に着目して、登場人物の言動や心情の変化を捉えたり、物語全体のメッセージを読み取ったりすることができるように指導していきたい。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○日常生活で使われている慣用句の意味を理解し、活用する問題で、正答率が全国平均より高かった。 ●文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書く問題で、正答率が全国平均より低かった。 ●学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使う問題で、正答率が全国平均より低かった。	・漢字の読み書きが正しくできるように、教科書やドリルなどを使って学習をするよう指導していきたい。

宇都宮市立上河内東小学校第6学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

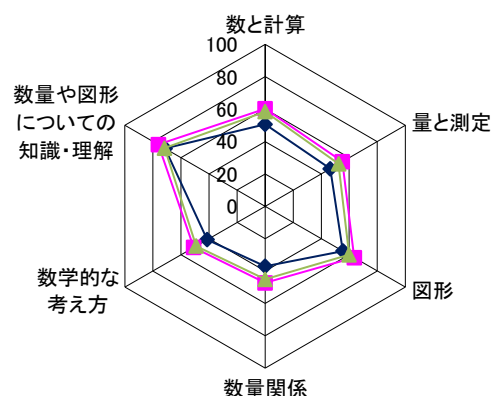
【算数A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	数と計算	52.9	64.5	62.3
	量と測定	74.1	73.6	72.7
	図形	54.8	59.1	56.9
	数量関係	54.3	61.8	60.1
観点	算数への関心・意欲・態度			
	数学的な考え方			
	数量や図形についての技能	58.6	65.5	63.0
	数量や図形についての知識・理解	58.7	65.3	63.8



【算数B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	数と計算	50.6	60.2	58.4
	量と測定	46.4	55.0	52.4
	図形	55.4	63.5	59.9
	数量関係	37.1	47.3	45.1
観点	算数への関心・意欲・態度			
	数学的な考え方	41.3	51.0	49.2
	数量や図形についての技能			
	数量や図形についての知識・理解	71.4	76.2	71.7



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

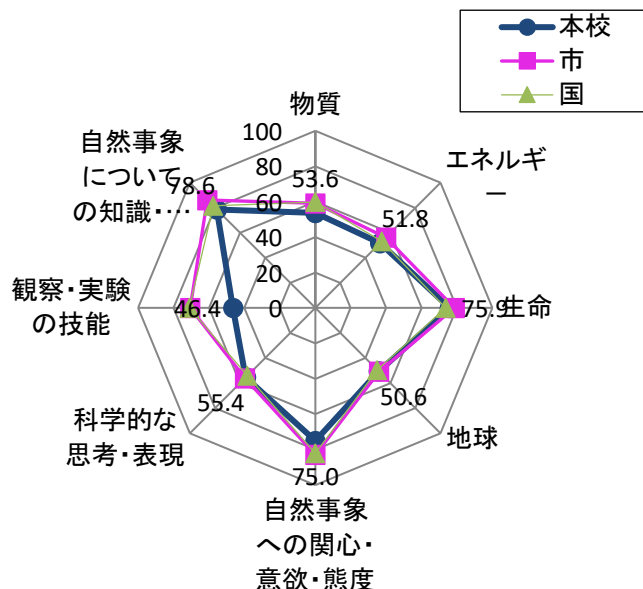
分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	○針金0.2mの重さと針金0.1mの重さを書く問題で、正答率が全国平均より高かった。 ●3桁の整数どうしの大きさを比べ、十の位に入る適切な数字を書く問題で、正答率が全国平均より低かった。	・十進位取り記数法で表された数の大小について理解できるように位取り表を活用するなどしてきめ細やかに指導していきたい。
量と測定	○面積がそろっているAとBの二つのシートの混み具合について、正しいものを選ぶ問題で、正答率が全国平均より高かった。 ●AとBの二つのシートの混み具合を比べる式の意味について、正しいものを選ぶ問題で、正答率が全国平均より低かった。	・単位量当たりの大きさを求める除法の式と商の意味を理解できるよう図や絵でイメージさせたり、数直線を使って単位あたりの量の求め方を復習するなどして指導していきたい。
図形	○合同な正三角形で敷き詰められた模様の中から見いだすことができる図形として、正しいものを選ぶ問題で、正答率が全国平均とほぼ同じであった。 ●円周率を求める式として正しいものを選ぶ問題で、正答率が全国平均より低かった。	・円周率の意味について理解できるよう指導していきたい。 ・算数の学習だけでなく、他教科の学習や日常生活においても、図形の性質を用いた問題場面を設定し、自分の考えを文章や図で表現し、伝え合う活動を多く取り入れていきたい。
数量関係	○除法で表すことができる二つの数量関係の問題で、正答率が全国平均より高かった。 ●百分率を求める問題で、正答率が全国平均より低かった。	・百分率の求め方について理解できるよう指導していきたい。

宇都宮市立上河内東小学校第6学年【理科】分類・区別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

【理科】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	物質	53.6	59.0	59.8
	エネルギー	51.8	56.4	53.1
	生命	75.9	78.6	73.6
	地球	50.6	50.9	49.5
観点	自然事象への関心・意欲・態度	75.0	82.9	82.1
	科学的な思考・表現	55.4	56.1	54.1
	観察・実験の技能	46.4	70.6	71.1
	自然事象についての知識・理解	78.6	86.2	81.5



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
物質	○海水と水道水を区別するために、2つの異なる実験方法から得られた結果を基に判断した内容を選ぶ問題で、正答率が全国平均より高かった。 ●ろ過後の溶液に砂が混じっている状況に着目しながら、誤った操作に気づき、適切に操作する方法を選ぶ問題で、正答率が全国平均より低かった。	・実験結果をきちんと記録するとともに、表やグラフにまとめる作業を丁寧に行えるよう指導していく。また、結果を分析する際には、小グループ等で意見交換を行う活動を取り入れ、より多角的な見方ができるようにしていく。
エネルギー	○目的の時間帯にだけモーターを回すため、太陽の1日の位置の変化に合わせた箱の中での光電池の適切な位置や向きを選ぶ問題で、正答率が全国平均より高かった。 ●回路を流れる電流の流れ方について、自分の考えと異なる他者の予想を基に、検流計の針の向きと目盛りを選ぶ問題で、正答率が全国平均より低かった。	・多様な実験をすることにより、より深い知識が身に付けられるようにしていく。考察を考える際には、なぜそうなるのか自分なりの言葉で書かせることにより、身に付けた知識が使えるようにする。
生命	○鳥の翼と人の腕のつくりについてのまとめから、どのような視点を基にまとめた内容なのかを選ぶ問題で、正答率が全国平均より高かった。 ●野鳥のひなの様子を観察するための適切な方法を選ぶ問題で、正答率が全国平均より低かった。	・日常の中で起きていることに関心を持たせ、学習で学んだ知識を生かして身近な事象と関連付けて考えることができるようにしていく。
地球	○流れる水の働きによる土地の侵食について、自分の考えと異なる他者の予想を基に、斜面に水を流したときの立てた棒の様子を選ぶ問題で、正答率が全国平均より高かった。 ●流されてきた土や石を積もらせる水の働きを表す言葉を選ぶ問題で、正答率が全国平均より低かった。	・基礎的な知識について十分理解されていない単元について、教科書の単元末のまとめを確認したり、問題に答えたりすることを通して知識の定着を図っていく。

宇都宮市立上河内東小学校 第6学年 児童質問紙

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。」という質問に対して、肯定割合が全国平均より高かった。話し合い活動が有効であると感じている児童が多いという特徴を、普段の授業からペアやグループで話し合う活動に多く取り入れていくことで生かしていく。

○「人の役に立つ人間になりたいと思いますか。」という質問に対して、肯定割合が全国平均より高かった。道徳の授業や、普段の生活の中で、これからも、人の役に立つ人間になりたいという気持ちを継続させていきたい。

●「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)」という質問に対して、肯定割合が全国平均より低かった。家庭学習記録カードの活用、そして、家庭学習の習慣をつけることと、自ら学習に向かう姿勢を身につけさせることを、家庭と連携して進めていきたい。

●「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。」という質問に対して、肯定割合が全国平均より低かった。規則正しい生活をする事の大切さを学校で今後も伝えていくこと、そして、家庭でも子どもに対して声かけをお願いしていきたい。

宇都宮市立上河内東小学校 (第6学年) 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
授業におけるまとめ・振り返りの充実	授業の最後に、本時のまとめを行って全員で確認し、一人一人がめあてに合った振り返りを自分の言葉でノートに書く時間を設けている。	「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。」の質問に肯定的に回答した児童の割合が市や全国よりも高かった。

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
算数の調査結果から、算数A問題の数と計算、図形、数量関係についての基本的な理解と技能に関わる問題の正答率が国の平均を下回っていた。	繰り返しの練習を復習により定着を図る学習の充実	朝の学習の時間を漢字と計算の練習と位置付け、ステップアップシート等を活用して復習させ、定着を図るとともに家庭学習の習慣化を図る。